

末路の勇者

マモノ  
を  
匿った

下卷

ADULT ONLY  
**R18**  
成人向け





魔王軍の残党に  
捕まってしまった魔物を  
助けてしまった。



助けるついでに  
魔力不足で弱っていた  
彼女に魔力を渡す  
ことになったのだが、  
その方法が...



男を射精させて  
魔力を吸収する。

それじゃ  
今日の分、  
頂いちゃい  
ますね♡



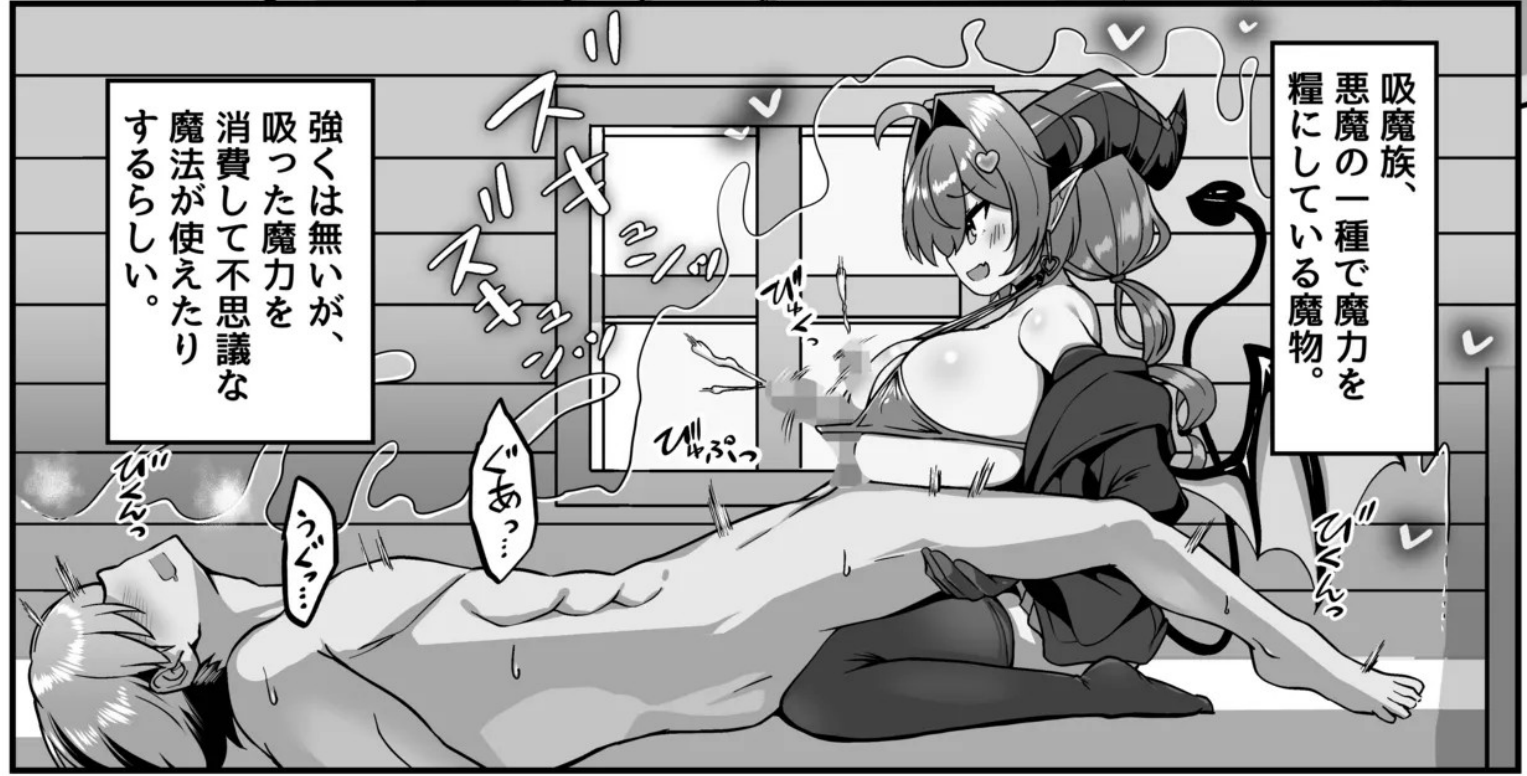


いただきまます♡

これが彼女が  
魔力を補給する  
方法なのである…

うああ…

むきゅん



吸魔族、  
悪魔の一種で魔力を  
糧にしている魔物。

強くは無いが、  
吸った魔力を  
消費して不思議な  
魔法が使えたり  
するらしい。

うん…

うん…

スッスッスッ

ひゅん

ひゅん

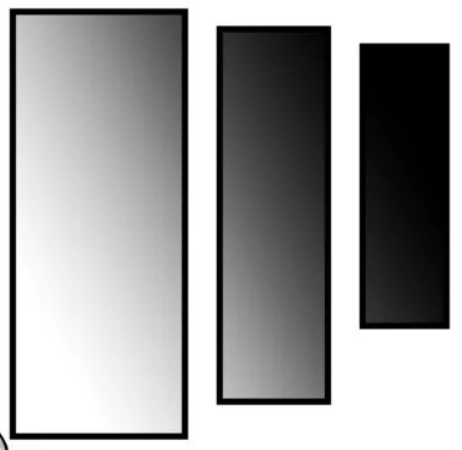




ん？

あの、  
勇者様……？

ゴコンゴコン……



……いえ、

やっぱり何でもありません……

なんと  
言いますか……

えーと、  
その……



お気を付けて

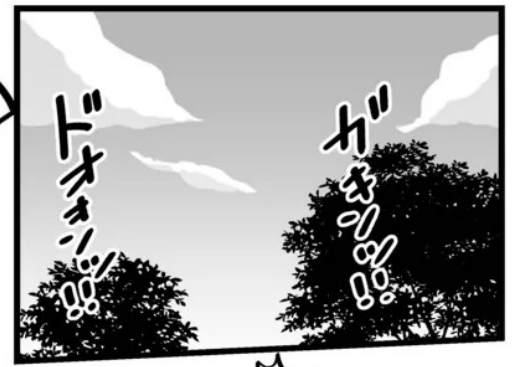
いって  
らっしゃいませ  
勇者様……♡

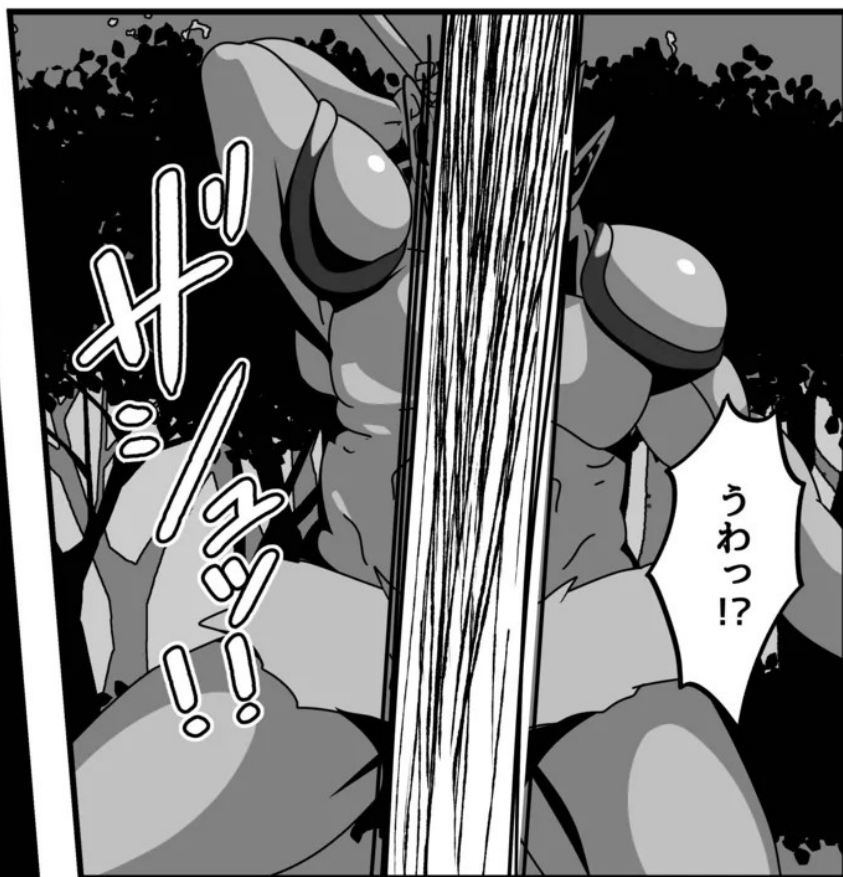


あー、  
行ってくるよ。



もじもじ……







ごめん、  
僕のミスだ。

分身が  
間に合って  
良かった…

一匹逃がして  
しまった…

あ、いえ…  
お陰で  
助かりました。

勇者様の  
分身魔法  
でしたか。



あ、僕の本体が  
敵の親玉を  
倒したみたいだ。

君はこのことを  
他の仲間にも  
伝えてくれ。



妙だな…  
魔物に突破された  
なら念話魔法で  
知らせてくれれば  
自分もこの場を  
引いて…

それに分身魔法は  
力が半減してしまう  
リスクがある…

…はい。  
わかり  
ました。

いくら勇者様でも  
魔物を率いている  
相手にこの魔法を  
使う余裕なんて  
あったのかな…



くっ…  
回復魔法…

十…  
ウ…

彼女に  
問い正さ  
ないと…

魔法を吸い取る  
ような力を  
持つ魔物なら  
とても危険だ。

おかえり  
なさいませ。  
勇者様♡

本日も  
お疲れ様  
でした♡

今日は  
どういう風に  
精液吸い取って  
欲しいですか？

やっぱり勇者様の  
だいたい好きなあ♡

う、おっぱい  
柔らかいっ…

いいいや…  
僕は勇者なんだ。

しっかりとこの子を  
見極めないとっ…

…やはり敵意は  
感じられない。

つまりこの子も  
悪気があった訳じゃ  
無いんだ…きつと。

も、もう  
こんな事は  
やめに  
しよう…。

え、勇者様…？

実は…

感知魔法！。

カツ…



えっと…  
はい…。

やっぱりって…  
気付いて  
いたのか…？



ででは…

やっぱり  
勇者様の  
魔法がっ…



ほ、本当に  
すみません  
勇者様…。

前に一度だけ  
魔力以外の物が  
私の中に  
流れてきた事が  
ありまして…

勇者様が使えなく  
なった魔法って  
きつとコレ…の  
事ですよね？



勇者様には  
助けて貰って  
いたの…

黙っていて  
ごめんなさい…。



念話魔法…っ  
使えるのか!?

はい、  
何となく  
ですが…

その、  
勇者様…



ゆ、勇者様……  
怒ってない  
のですか？  
私、勇者様の魔法を  
奪っちゃうような  
悪い魔物なのに……？



いや、僕の方こそ  
疑ってしまったて  
悪かったと  
思ってるんだ。  
君に悪気が  
無くて  
安心してよ。

ホッ……



ゆ、勇者様……



うん、怒ってない。

君にその……  
お願いしてたのも  
僕の方からに  
なっていたし……

君が気にする事  
じゃないよ。



……まあ、だから  
君の吸精は魔法まで  
吸ってしまったと  
わかったわけであ

これ以上その……  
ま、魔力をあげる事は  
できないんだ。

……あ、勿論君の  
安全は僕が保証  
するよ。

実は人に敵意の  
無い魔物達を  
匿う為の  
集落を作ろうと  
思っていて……



あの、せめて最後に  
ご奉仕させて  
いただきたいと思います。

どたぶん

う...



どう  
したんだ？

わっ...

勇者様っ



これは勇者様に  
黙っていた  
お詫びです...

も、勿論魔力は  
いただきません...



でも  
まりよっ...

ほ、奉仕って



お詫び...?  
いや、駄目だ...  
断らないと...

それに、  
勇者様の  
おちんちん...

とつても  
苦しそうで...

ほら、  
こんな...

やめ...

う...

う...

どたぶん



私のせい…  
ですよ…?

…っ

ここで合う度  
えっちな事  
してましたから…



勇者様には  
本当に  
お世話に  
なってますから…

ダメだなんて…  
そんなこと  
無いですよ?



だ、ダメだよっ

ただ気持ち良く  
してもらうために  
こんなことっ…

ドキ  
ドキ



良いってこと…  
ですよ…♡

これって  
ご奉仕させて  
いただいても



ほら、  
おちんちんも…♡

さつきから  
どんどん  
おつきくなつて  
来ますよ…?

ビク  
ビク



魔力を  
吸われないと  
言っても  
こんな事...

勇者様...、  
覚えてますか？



だ、ダメだ...

ほら、  
こちらへ...♡



初めての時も  
こんな風にさせて  
いただきましたよね？

あーっ  
ハアッ

こゝ断らなきや...  
うう...柔らかいっ

あーっ

レウあ...



おねがい...っ



今すぐ  
振り払っ...

お...  
ニム  
ニム



脱がしちやい  
ますね...？

ズル...







最後のので  
勇者さまには  
長らく楽しんで  
欲しいのですが……♡



ふふ♡  
良いんですか？  
この様子だと  
先っぽ責められたら  
すぐイツちやいますよ？

ちろちろ♡

は、はやく  
舐めてえ……

びくんっ

ハッ  
ハッ



ほらあ♡  
よおく見ててください  
勇者さま♡

こちらが今から  
勇者さまの  
おちんちんを  
気持ち良くして  
あげちやう、

れろ♡

うあぁ……

わるい魔物の  
えつちな  
お口ですよ？

気持ち良い……っ  
こ、こんな使い方  
があるなんてっ

ああ……声が  
頭に直接  
響いて……っ



キス…♡

ふふ♡  
良いですよ？  
それでは、  
おちんちんの  
周りに♡  
舌を這わせてえ…♡



早くちゅばちゅばして  
欲しくておちんちんが  
必死にアピール  
しちゃってます♡



勇者さまの  
とっても  
美味しいです♡

先走りのお汁、  
いただいちゃい  
ますね…♡

ふふ♡  
もっと出して  
ください…♡

ん…♡

ふふ…!!



声出ちゃいましたね♡  
気持ち良いですか？

このまま  
お口とおっぱいの  
あま〜い刺激で  
ゆっくり勇者さまの  
おちんちん…♡

とろとろに  
してあげます♡

ふ…

う…



この魔法の  
コツ、掴んで  
来ました♡

うああっ…  
み、耳元で  
囁かれてる  
みたいになっ…

ちくび  
くりくり♡  
おちんちん  
ちゅぱちゅぱ♡

気持ちいい  
気持ちいい  
ですわー♡

お、おかしく  
なっちゃっ…

ふふ♡  
イカせてくだ  
なんて…♡

!?

おちんちんもう  
限界ですね？

それでは  
ぴゅっつて  
なさいますか？

うう…  
い、イカせ  
てえ…♡

わかりました、  
それでは、  
最後の  
お射精…♡

させて  
あげますね♡









これからは  
そういう関係  
じゃなくて…



我ながら  
未練がましい  
けども…

…うん、これで  
良かったんだ…



ん…？

…あの、  
勇者さま…



え…？

その…  
ね、念話魔法が  
使えません…

…



一度覚えた  
魔法が使えなく  
なるなんてことが  
あるか……？

……あれ？  
この感じ、  
ひよつとしてっ……



うう……  
すみません……

本当は勇者様の  
魔法なのに……



き、聞こえるかな……？

え、これって  
勇者様の声……!?

やはり……  
奪われたはずの  
魔法が使えるように  
なってる……

……という事は、



それでは、  
魔法は  
元通りに……？

うん……  
多分だけど  
魔法を使う度に  
ちよつとずつ  
戻るんだと思う。



私、勇者様に  
とんだご迷惑を……

すみません……

い、いや……っ



そうだったんですね……

安心しました。



でもこれで  
心置きなく、  
……おしまいに  
できそうですね？

う、うん……  
そう……だね？

おしまい……  
そうだよな、  
いくら元に戻ると  
言っても……

……



い、いや……  
それは……っ

また同じ事になったら  
君にとつても  
迷惑だろうし……



あの、勇者様が  
良ければ  
なんですけど  
今後とも……  
しますか？

え……っ!?

もい  
もい  
ニ  
〃



魔法を  
使つて……っ

また……!?

ひゅんっ!!

ひゅんっ!!



迷惑だなんて……  
その時は  
今日みたい……  
魔法を使つて  
気持ち良くなつて  
もらつたら  
また元に……

……!?



ど、どうして  
そこまで……っ?

ムワムワ……



勇者さま……♡

いっちやえ♡  
いっちやえ♡

あ……

……っ!!

えっと、それは…勇者様の魔力はとっても美味しいですし、

勇者様が気持ち良くなってる顔もとても好き…ですの…♡

えっと、すみません…私の方が勇者さまとしたいというか…

…それこそ迷惑ですよ…

ドキッ…

…

ヤムム…

ギシ…

？

あはは…







揺れ…  
やっば…

ゆっぺん



う…

だめ…  
ですか？



…いや、だめだ…  
僕は勇者として、  
流されるわけには…

…おっぱい  
おっきい…っ

それに、このまま  
だらだらと関係を  
続けるなんて…

やっぱりこの子に  
とって迷惑だよな…  
しっかり断って…

えっ…

す…

ひっ

ひっ

う…



なっ…  
おっぱい…っ

やっぱりダメ…  
ですか…？

勇者さまにとつて  
こういう事って、  
ご迷惑なので  
しょうか…？

たっ

おっ

しゃろ…



んっ

おっぱい…

やわらかあ…っ  
沈み込む…っ

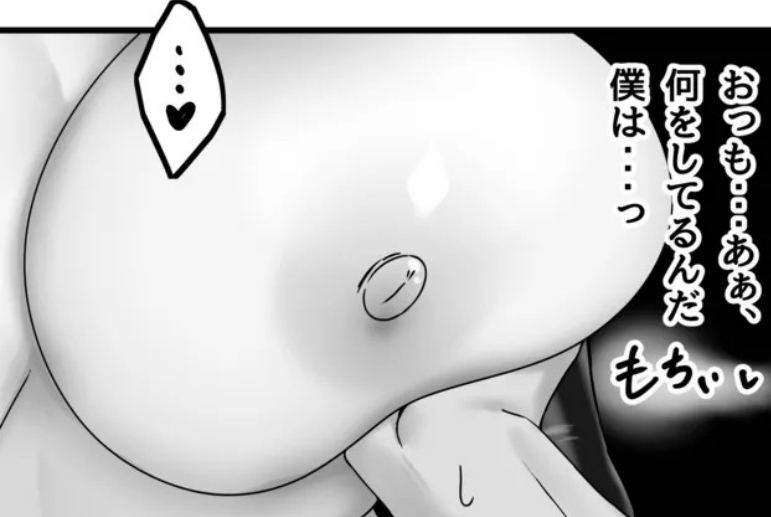


そ、そんな  
こと…は…

う、で、じか…  
えろすぎるよお…

たっ

そろっ



…っ

おっぱい…あぁ、  
何をしてるんだ  
僕は…っ  
もちい



私の生おっぱい、  
いかがですか？  
勇者様……♡

触ってるだけなのに  
ふにやふにやうって  
力が抜けてきて、

ですのでえ……♡  
勇者さまの魔力♡  
これまで通り、  
いっぱい注いでください♡

おっぱい大好きな  
勇者さまを骨抜きに  
させちゃうんですよ？

今日も、明日も  
まいにちです♡

このこの  
おっぱいで、  
ま、毎日……♡

はい、  
ストップです♡

私の方から  
お願いは  
しましたが、

今後どうするかは  
やっぱり勇者さまに  
決めて欲しいです♡

え……？

あ……

あ……

おっぱい……っ

どうするか……♡  
勇者様の方から  
答えをください……♡

私の方は  
いつでも準備  
出来てますので♡

う……  
ああ……っ

そんなの……  
決まってる……っ





魔力…魔法を  
吸われたって…っ



ほんの  
少し…



あ…♡  
あったかい♡

ありがとう  
ございます  
勇者様♡

良いじゃないか…っ

うん…♡  
うん…っ

うああ……っ  
やっぱりこれ  
最高……っ

ぴゅっ♡

勇者様……♡

たっ♡

あ……っ  
ああ……っ

んっ♡



ガッ

ガッ

ちゃぽ♡

き、キス……っ  
くちびるやわあつ……♡

ビッ

あや

ちゅる♡



ドーン  
いまますね♡

それじゃ  
勇者さまが  
大好きな  
アレ……♡



ハッ

いっは...

ドーン  
えっへっへ♡  
すっかり♡  
ながちりに  
なっちやい  
ましたね♡

ビッ



やあん♡  
勇者さまったら  
必死に擦り  
けちやっ♡

あうう…  
は、挟んでえ…

ふふふ…

そんなに  
焦らなくても  
ちゃんとして  
あげますからね♡



ほおら、  
ゆっくり乳圧  
かけてえ…♡

にゅらにゅら♡

ずにゅ♡

ふふ♡  
これでもう  
イっちゃうん  
ですよね？



はっ♡  
お射精どぞお♡

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

で、射精<sup>で</sup>るっ!!  
あっ……!!  
うあああっ!!

ビクッ!!  
ビクッ!!

ああん♡

気持ち良いの  
いっぱい  
射精<sup>だ</sup>せましたね?  
勇者さま♡

ん……♡

にゃん♡

にゃん♡

にゃん♡



うはあっ……

ビュッ

ミユク

トロ〜

いただきます……♡

ぐちゃ

勇者さまの  
魔力……♡

その後も……

ぐちゃ♡





搾精の  
目々が続き...

あーっ...

あ...

お尻で  
清めて欲しいん  
ですかあ?

へんたいさんだあ♡

ふっああ...

あ

エエッ!!



おかしび...

最近の勇者さま...



勇者さまには  
悪いけど、  
後をつけて  
確かめてみようかな...



なっ...



いつも疲れてるといふか...  
確かに戦いは大変だけど  
僕でも付いていける  
くらいだし、勇者さまなら  
もっと余裕があつても...

宿に泊まつてるわけじゃ  
ないみたいだし、  
毎日どこに  
行つてるんだらうか...

魔王軍の残党は  
ほとんど消えて  
これからが人類にとって  
本当に大変な時期なんだ...  
もしものことがあると  
いけないし、

な、なんだ  
これはっ……!?

勇者さまっ……!?

魔物に犯されて……!?

あの勇者さまがっ……  
まさか最上位の  
サキユバス……っ!?

むっ  
ちっ

むっ  
ちっ

とすくすく

ほらほらあ、  
勇者さまの  
大事な分身魔法♡

わるい魔物に  
盗られちゃい  
ましたよお？

良いですよね？  
勇者さまも  
とおつても気持ち  
良さそうですし♡

びく  
びく

だ、だめえ…  
こんなのされたらあ…  
ダメになっ…!!

びく

ふふ♡  
ダメになっちゃ  
いますよう？

私に体を委ねて  
たくさんのおっぱいを  
感じながらイって下さい♡



ほお

こゝろあ〜っ!!

しず

と、とにかく  
助けないと...

グイグイ...

サキユバスに  
かけられている  
魅了魔法さえ  
解除できれば...

今は僕しか  
いないんだっ!!

最上位の魔物  
相手に僕なんか  
太刀打ちできるわけ  
ないけど...



くっ…  
勇者さまを  
よくもっ…

僕をどうする  
つもりだ…!

失敗した…っ  
何とか隙を  
突いて  
逃げなびとっ…

別に何も  
しませんけど…

ただ、勇者さまは  
私のなので…  
あなたには身を  
引いて欲しいですね…

…  
私と勇者さまの関係を  
見ていただければ  
十分でしょうか…

…?!

…っ!?!  
いったい何を…

はっい、  
勇者さま??

いったん  
おっぱいは  
お預けです♡

そ、そんなあ…





ゆ、勇者様!?

えっ…!?  
な、なんで  
ここにっ…!?



認識阻害魔法を  
解除したのか!?

なぜ…!?



さあ、勇者さま♡  
おっぱい  
再開です♡

おちんちん  
ばあつくん〜♡

えっ!?  
ま…っ

おちんちん

あぁあぁ



だ、だめだ……っ  
こうされると  
思考が……っ

まごまご  
なくなる……っ



おちんちん  
全然静まり  
ませんね♡

ふふ♡  
お知り合いに  
見られてても♡



ほおら、勇者さまは  
乳首でも気持ち良〜く  
なれちやうんですよね〜♡

抵抗できなげっ……!!!

もつとみつともない  
とこ見せつけて  
幻滅されちやい  
ましようか♡

あはっ♡  
どんどんおつきく  
なっちやってますよ♡

〜っ!!

ほらほら、  
射精のお時間ですよ？  
勇者さまぁ♡

いつものやつ  
びゅって  
しちゃいましようね♡

ほんっ

ほんっ

ほんっ

ほんっ

い、イカされる…っ!!

い、いや…こんな所を  
か、彼に…っ  
見せるわけには…  
だ…ダメだ…っ  
もう…っ

んぎゅんっ  
♡  
♡  
♡





見せつけるのは  
どうかと思うけど……  
き、気まずい……

僕も疑って  
かかっちゃいましたし  
その、お互い様って  
ことで……

ご、ごめんなさい……  
てつきり女の人で  
その……恋敵なの  
かなと……



今後か……

そうだね、  
丁度良いし  
その話を  
しようか……



とにかく  
ゆ、勇者さま、  
今後のこと  
ですが……



そのことなら  
すでに  
考えがあるんだ。

考え……？



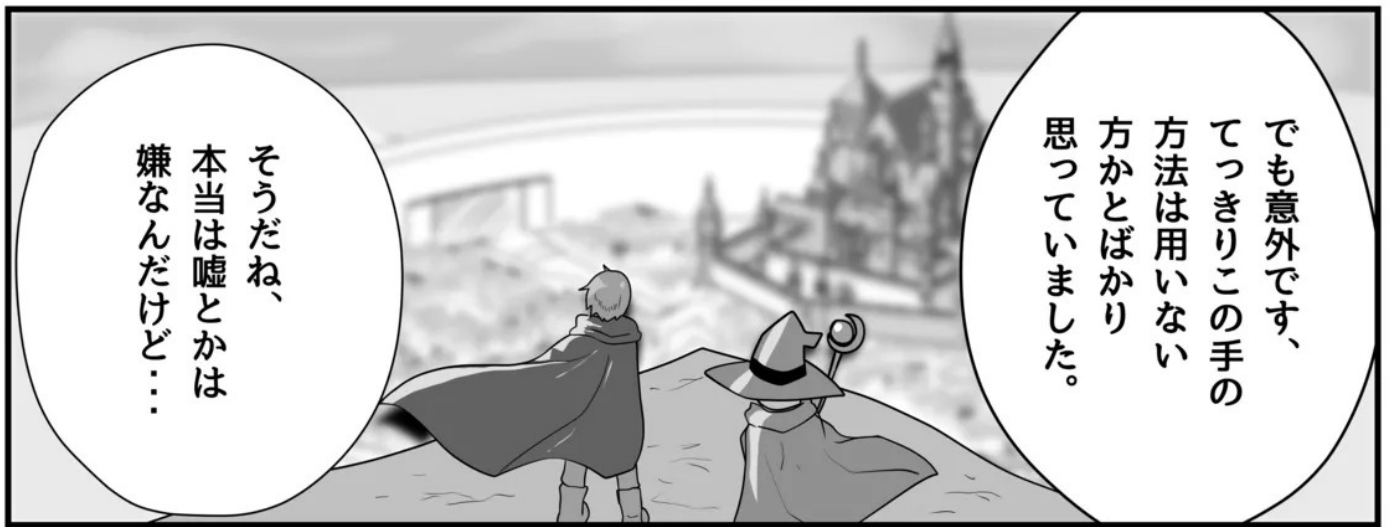
魔王軍残党の力が  
弱まってきた今、  
王国民は  
魔物を根絶すべきと  
人類に協力的だった  
魔物や敵対していない  
中立派の魔物まで  
迫害をし始めている。  
今はまだ小さな火種だが  
人類と魔物の争いが  
より大きなものとなって  
再開しかねない……。



あの…  
勇者さま、  
そのお話って…

うん、一時的に  
複数の魔法を同時に  
扱えるようになる  
君の力を  
借りたいんだ…

王様にももう  
話はしてあるよ。



でも意外です、  
てつきりこの手の  
方法は用いない  
方かとばかり  
思っていました。

そうだね、  
本当は嘘とかは  
嫌なんだけど…



勇者さま…



自分一人じゃできない  
ことだったし、  
仕方ないかなって…

まあ皆が求めてる  
勇者としては  
失格かもね…



我は新しく  
誕生した  
魔王である!!

人類よ、我を  
恐れよっ…!!

きんちよろ  
しましたあ…

こんな感じで  
良かったですか？

勇者さまの計画はこうだ。  
人類の脅威になつていた  
魔王軍残党の力を弱めた後に  
新しい魔王を仕立て上げ、  
国民の意識を中立、  
協力関係にある魔物達から  
遠ざけ、その間に  
魔物への偏見を払拭するのだ。

魔物と言っても  
魔力を人より  
持っているだけの  
種族も含めて  
そう呼称されているだけで、  
彼らも感情を  
持つており、同じ存在なのだ。

後何年、何十年かかるか  
わからないが、  
いつかはお互いに  
手を取り合える  
日が来るのだろう…  
あの勇者さま達のように…

おしまい。



FAP製作所